

LOGOS × SENGOKU ALADDIN
ポータブルガスカセットコンロ
1バーナー

取扱説明書

型式 81060040

保証書付

日本国内家庭用
Use only in Japan

このたびは、お買い上げいただき、まことに
ありがとうございます。

■ LOGOS × SENGOKU ALADDIN
ポータブルガスカセットコンロ1バーナー
を安全に正しくご使用いただくために、ご
使用前に必ずこの「取扱説明書」をよくお
読みください。そして必要な時に読みかえ
しができるように必ず保管してください。
裏表紙が保証書になっています。



■ 本商品は利便性を追求した簡易ガス器具
です。過酷な使い方、特殊なご使用をされ
ますと、けがや火災など思わぬ事故の原因
となったり、本商品の焼損のおそれがあり
ます。本取扱説明書に記載されている内容
を十分ご理解の上でご使用ください。
この機器は国内専用ですので、海外で使用
しないでください。

● 圧力感知安全装置付

ご使用のまえに……………	1
特に注意していただきたいこと…………	1～7
圧力感知安全装置が作動したときの処置方法…………	8
各部のなまえ……………	9
仕様……………	9
ご使用まえの準備と確認……………	10
正しい使いかた……………	11～12
日常の点検・お手入れ……………	13
故障・異常の見分け方と処置方法…………	13
故障かな？と思われたときは……………	14
保管（長期間使用しない場合）……………	14
アフターサービス……………	14
お客様の個人情報のお取り扱いについて…………	裏表紙
保証書……………	裏表紙

ご使用のまえに

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。


 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

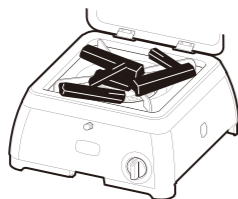
- 絵表示の意味
-  一般的な注意
 -  必ず行う
 -  一般的な禁止
 -  換気する
 -  発火注意
 -  分解禁止
 -  接触禁止


特に注意していただきたいこと

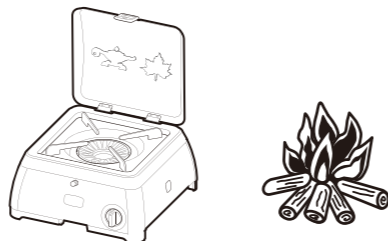
1. 容器（ボンベ）の過熱注意


警告(WARNING) 下記のような使い方は容器（ボンベ）が過熱し、爆発の原因となりますので、絶対にしないでください。また安全装置の作動を招く原因となります。

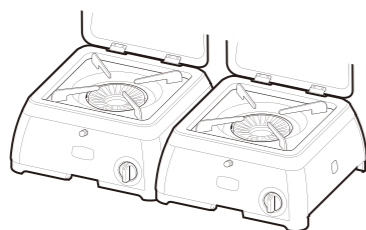
 **調理以外の用途には使用しない**
調理以外の用途(木炭、練炭などの火起こし等)に使用しないでください。ふく射熱により、容器(ボンベ)が過熱して爆発するおそれがあります。




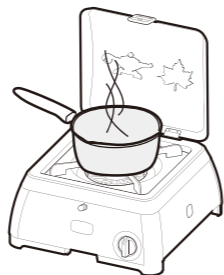
 **火気の近くでは使用しない**
火気からのふく射熱により、容器(ボンベ)が過熱して爆発するおそれがあります。火気から2m以上離して使用してください。




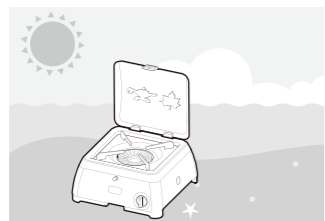
 **2台以上ならべて使用しない**
2台以上並べての使用は非常に危険ですので、絶対におやめください。本体に熱がこもり、容器(ボンベ)が過熱して爆発するおそれがあります。




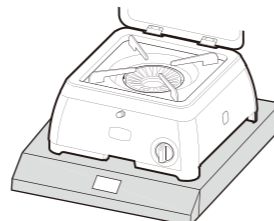
 **調理器具の空だきは絶対にしない**
本体に熱がこもり、容器(ボンベ)が過熱して爆発するおそれがあります。




 **容器(ボンベ)が過熱する場所では使用しない**
容器(ボンベ)が過熱して爆発するおそれがあります。夏の砂浜、砂利、アスファルトなど日光によって容器(ボンベ)が過熱する場所では使用しないでください。

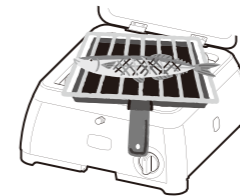



 **電磁 (IH) 調理器・電熱器など熱を発生する器具の上では使用しない**
間違えて電源が入ると、容器(ボンベ)が過熱され爆発するおそれがあります。

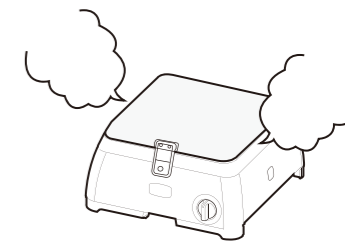


警告(WARNING) 下記のような使い方は容器（ボンベ）が過熱し、爆発の原因となりますので、絶対にしないでください。また安全装置の作動を招く原因となります。

 **セラミック付焼網器、石板、陶板、セラミックを使用した焼肉器等は絶対に使用しない。またアルミホイルなどで覆ったりして使用しない 付属品以外は使用しない**
ふく射熱により本体に熱がこもり、容器(ボンベ)が過熱して爆発するおそれがあります。




 **ふたを閉めた状態で使用しない**
本体に熱がこもり、容器(ボンベ)が過熱され爆発するおそれがあります。




2. 使用容器（ボンベ）とその取扱いについて


警告(WARNING)

 **熱気のある場所に放置しない**
容器（ボンベ）はファンヒーターやオーブントースターなど、熱気を発生させる器具の周囲や熱気のある場所には放置しないでください。熱で容器（ボンベ）の圧力が上がり爆発の原因となります。




 **容器（ボンベ）を火の中に入れてない**
過熱、爆発し大きな事故になります。燃えるゴミに混入すると危険です。



 **火気や直射日光を避ける**
火気や直射日光、室内や車内の窓際などを避け、風通しが良く湿度の少ない40℃以下の場所にキャップをして保管してください。塩分のある場所や冷蔵庫も避けてください。機器内に容器（ボンベ）を入れたままで絶対に持ち運びしないでください。また使用後は容器（ボンベ）を機器から取りはずし、同様の場所に保管してください。




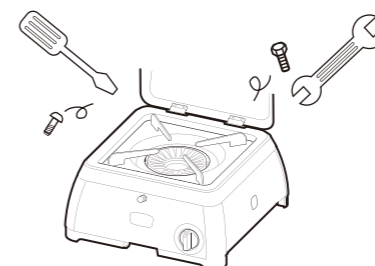
 **容器(ボンベ)はガスを使い切ってから廃棄する**
1. 容器(ボンベ)を振ってサラサラと音がするときは、まだガスが残っています。必ず完全に使い切るか、火の気のない風通しのよい所でステム(先端)を押しつけて残りのガスを抜いてください。
2. 完全に使い終わってから他のゴミと区分し、地域の取り決めにしたがって分別廃棄してください。容器(ボンベ)にガスが残っていると、清掃車の火災のおそれがあります。




3. 使用上の注意

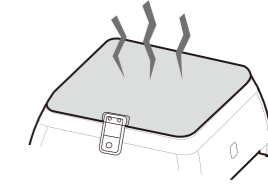
警告(WARNING)

 **絶対に改造・分解をしない**
改造はしない。また、修理技術者以外の方は、分解したり修理をしない。一酸化炭素中毒死やガス漏れなどの、思わぬ事故や故障・火災の原因になります。




 **消火直後の高温状態の本製品を収納しない**
熱による変形・火災・やけどのおそれがあります。

 **使用後しばらくはふたをしない**
本体に熱がこもり、容器(ボンベ)が過熱され爆発するおそれがあります。各部が十分冷えてからふたをしてください。



⚠ 注意(CAUTION)

❗ 専用の容器(ボンベ)を使う
 容器(ボンベ)は、「SENGOKU ALADDIN」の表示専用容器(ボンベ)を使用してください。他の容器(ボンベ)を使用すると、ガス漏れなどの原因および正常な使用ができない場合があります。



- ❌ 落下するような場所で容器(ボンベ)を保管しない
落下による破損やガス漏れによる引火のおそれがあります。
- ❌ 容器(ボンベ)に強い衝撃を与えない
変形のある容器(ボンベ)は使用しない
- ❌ 容器(ボンベ)のガスを故意に吸い込まない
人体に害を与えることがあります。

お願い

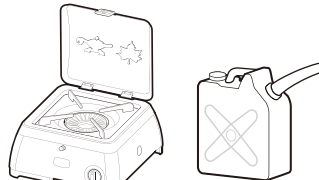
- 容器(ボンベ)に表示されている注意事項を必ずお読みください。
- 保管している容器(ボンベ)は、ときどき点検してさびが発生しているときは、ガス漏れがないことを確認して、できるだけ早く使い切ってください。
- 使用時は容器キャップをはずし、保管するときは容器キャップを取り付けてください。
- 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中もときどき正常に燃焼していることを確かめてください。

4. 使用場所についてのご注意

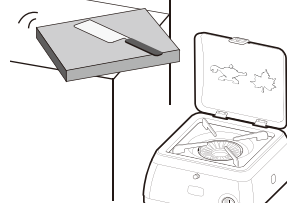
⚠ 警告(WARNING)

下記のような場所では火災の原因となりますので使用しないでください。

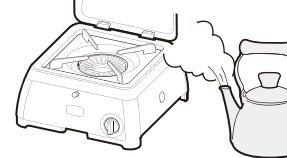
❌ **引火物(ガソリン、灯油、ガスなど)が近くにある場所**
引火による爆発のおそれがあります。



❌ **落下物の危険がある場所**
引火や調理器具の転倒によるやけどのおそれがあります。



❌ **熱気のある場所**
過熱により爆発のおそれがあります。

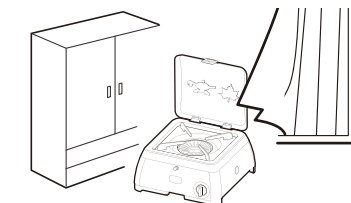


❗ **次のような熱に弱いテーブルの上で使用するとき、耐熱温度、材質などを確認し、十分注意して使用する**

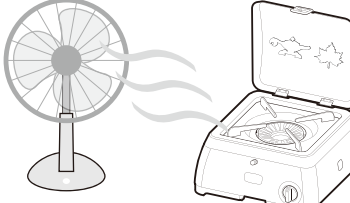
- ・無垢材 ・一枚板 ・ガラス製のテーブル ・漆塗り
- ・塗装されているテーブル ・ウレタン系コート
- ・合成樹脂材 ・その他熱に弱い材質のテーブル

使用中の本製品の底部は大変熱くなりますので、テーブルの割れ、変形、破損、熱損が起きるおそれがあります。

❌ **カーテンなどが触れる場所や燃えやすいもの、熱に弱いものそば**
引火による火災のおそれがあります。

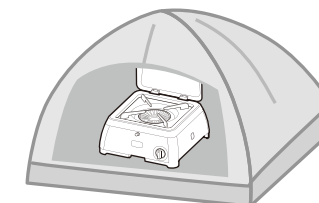


❌ **風の吹き込む場所や風を吸い込む場所**
風により炎が横に流れたり、本体内に吸い込まれたりして、本体やテーブルをこがすことがあります。



❗ **風がある場合は、ふたが風を防ぐ方向に本体を向けて使用する**
風が吹き込んで炎が吹き消され、ガス漏れを起こす場合があります。

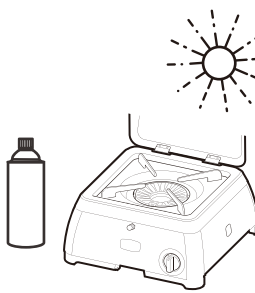
❌ **テント内や車内などの狭い場所や換気の悪い場所**
周囲の可燃物に引火して、火災のおそれがあります。



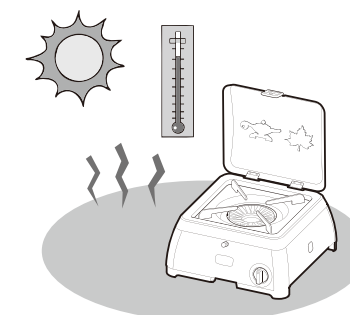
⚠ 注意(CAUTION)

屋外で使用するときは、下記のことを注意してご使用ください。


❌ **直射日光のあたる場所では使用しない**
容器(ボンベ)が過熱され爆発のおそれがあります。



❌ **地面の熱くなっている場所では使用しない**
地面からの熱で容器(ボンベ)が過熱され爆発のおそれがあります。



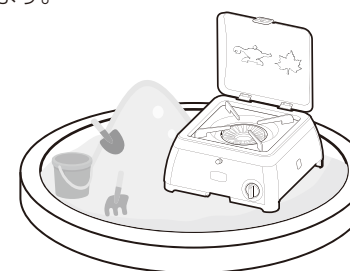
❌ **強い風が吹き込んでいる場所では使用しない**
炎が吹き消され、ガス漏れを起こす場合があります。



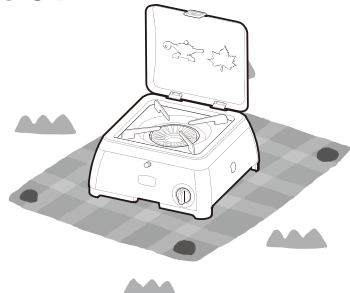
❌ **不安定な場所では使用しない**
不安定な場所で使用すると、機器がひっくり返り危険です。



❌ **機器の底が砂や小石などで埋まる場所では使用しない**
放熱が悪くなり、容器(ボンベ)が過熱され爆発のおそれがあります。




❌ **タタミやジュウタンなど燃えやすいものの上では使用しない**



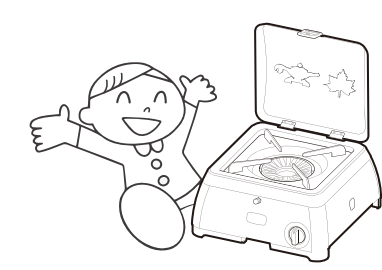
5. 火災事故、ガス事故防止のために

⚠ 警告(WARNING)

❌ **予備の容器(ボンベ)やヘアスプレーなど、引火のおそれのあるものを近くで使用しない**
火が燃え移ったり、爆発のおそれがあります。



❌ **子供だけで使わせない**
子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わせないでください。



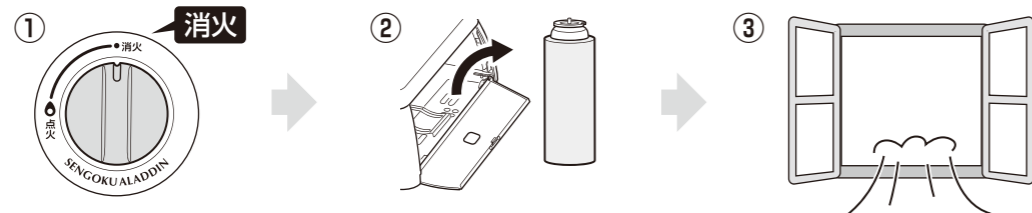
警告(WARNING)



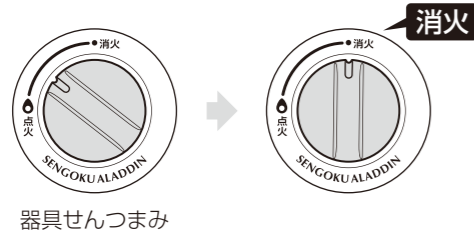
ガス漏れに気がついたら、すぐに火を消す

ガスが漏れるとガスのおい(くさった玉ねぎのようにおい)がします。ボタンガスは空気より重く下部にたまります。火気や火花で引火しますので、電気器具(換気扇など)の入・切や電源プラグの抜き差しはしないでください。また周囲の電話も使用しないですぐに次の処置を行ってください。

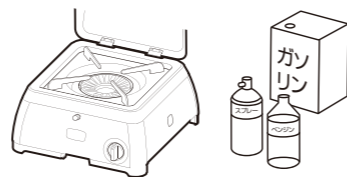
- ① 直ちに火を止める。
※器具せんつまみを、「消火」方向の止まる位置まで回す
- ② 容器(ボンベ)をはずす。
- ③ 窓や戸を開けてガスを外に出す。
(換気扇などは使用しないでください)



容器(ボンベ)がセットされていて、着火していないのに器具せんつまみが「消火」以外の位置にあると、ガス漏れをおこし危険。使用しないときは必ず器具せんつまみを「消火」の位置にしてください。



使用場所の周囲には、引火物や可燃物を置かない。機器の使用中は、周囲にガソリンなどの引火物や予備の容器(ボンベ)やスプレー缶を放置しないでください。引火や過熱により爆発のおそれがあります。



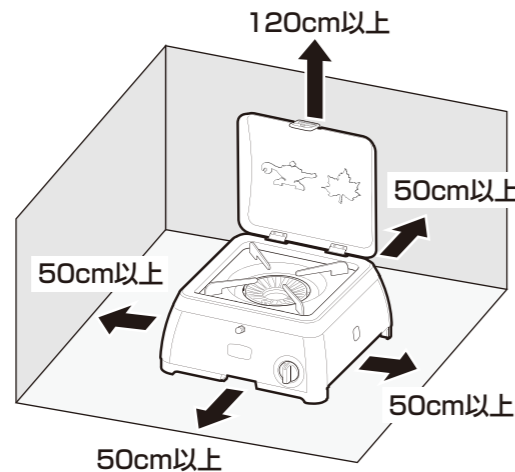
使用中は機器から離れない。火をつけたままその場を離れたり、眠り込んだりしないでください。可燃物への引火などにより思わぬ事故の原因となります。必ず火を消してから離れるようにしてください。電話や来客などの場合も、いったん火を消してください。特に油気のあるものを料理しているときは危険です。

注意(CAUTION)



家具や壁など可燃物から下記以上離して使用する

- 壁などが熱せられ火災のおそれがあります。
- 木製やガラス、樹脂性、うるし塗りなど熱に弱いテーブルの上で使用する場合は、不燃性の断熱材を機器の下に敷いてください。(使用中の機器の底部はたいへん熱くなっていますので十分ご注意ください)

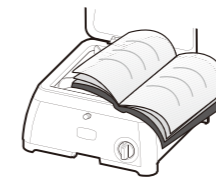


注意(CAUTION)

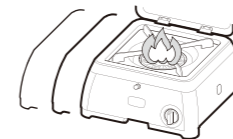


燃えやすいものを近くに置かない

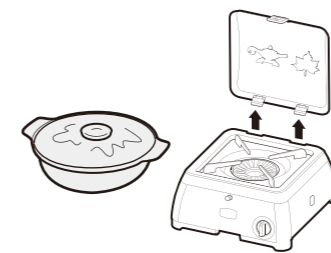
機器の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。また可燃物(家具・カーテン・洗濯物など)を機器に近づけないでください。火災の原因になります。



火のついたまま傾けたり、移動させたりしない。転倒すると、やけどや火災の原因になります。

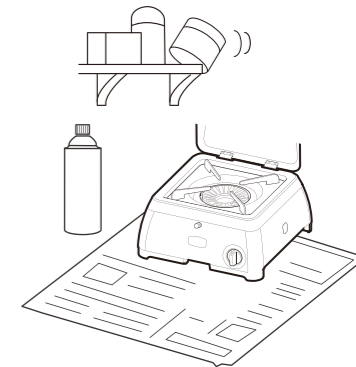


大型の鍋を使用するときはふたを取りはずす。鍋などがふたに接触して転倒するおそれがあります。

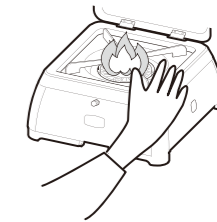


室内の次のような場所では使用しない

- 物が落ちるおそれがある場所
- 新聞紙・段ボール・ビニールクロスなど燃えやすい物の上
- ガソリンなどの引火物やスプレー缶のそば
- 無煙ロースターなど排気する設備の近く



使用中バーナー付近に手や顔を近づけない。炎によりやけどのおそれがあります。

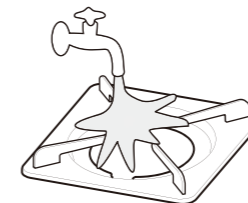


6. 汁受け、ふたの取り扱いについて

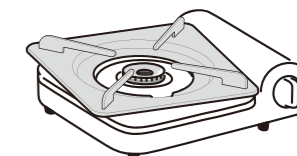
お願い



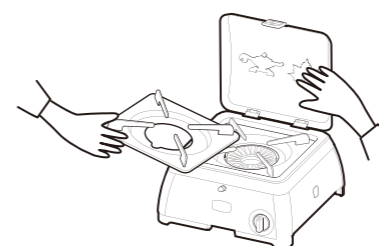
熱くなった汁受け、ふたを急激に冷やさない。急激な温度変化により変形やほうろうが破損するおそれがあります。



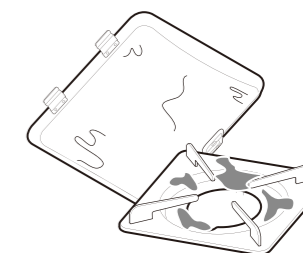
付属の汁受けやふたを他のこんろや電気式グリルに使用しない。汁受けやふたが溶解したり、他のこんろや電気式グリルが破損する場合があります。



調理中や消火直後は汁受けやふたを素手で持たない。汁受けやふたが熱くなっていますので、やけどのおそれがあります。必ずミトンなどを使用してください。



調理物が付着したまま放置したり、濡れたまま長期間放置しない。表面加工がはがれたり、サビが発生する原因になります。

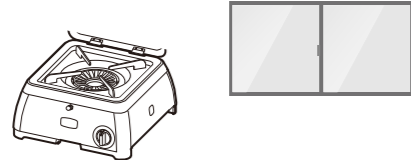


⚠ 注意(CAUTION)



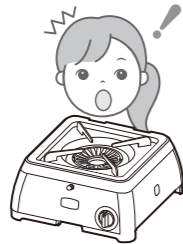
必ず換気(給気、排気)が十分できる所で使用する

使用中は1時間に1~2回(1~2分)程度換気扇を回すか、窓を開けるなどして換気する。しめきった部屋で長時間使用すると、空気中の酸素が減少し、不完全燃焼による一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。



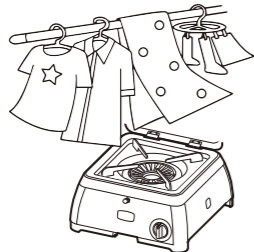
着火の確認、燃焼状態の確認

点火時、使用中はバーナーを上から覗き込まないでください。炎によりやけどのおそれがあります。

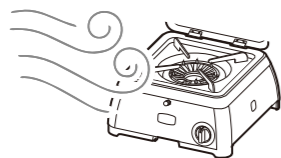


衣類などの乾燥に使用しない

燃え移ったりして火災のおそれがあります。

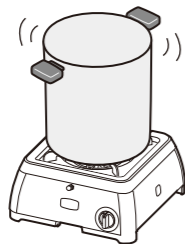


炎を小さくしすぎると、風で吹き消されることがあります。



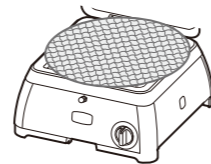
大型の鍋を汁受けに載せたり、本体に過大な荷重をかけない

転倒や本体の損傷による事故の原因になります。また、一度に大量の調理をするときなども過重状態となり、本体の変形や不安定になることによる転倒のおそれがあります。鍋などを汁受けに載せるときは、汁受けの真上からゆっくりと置いてください。



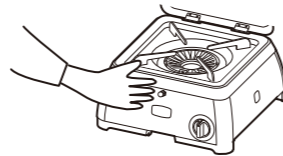
付属の汁受け・ふたを取り付けて使用しない

本体以外に風防や焼き網、鍋を受ける器具、特殊な鉄板などの応用器具は使用しないでください。石綿付きの魚焼き器、鉄板、石綿付き焼き網、陶板はそれ自体が発熱するため危険です。絶対に使用しないでください。



使用中や使用後しばらくは手を触れない

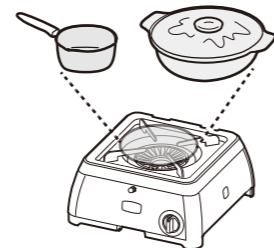
機器が熱くなっていてやけどのおそれがあります。手を触れたり移動させないでください。とくにお子さまにご注意ください。ヒートパネル付きの機器の場合、使用中や使用後しばらくは容器(ボンベ)が熱くなる場合がありますが、異常ではありません。



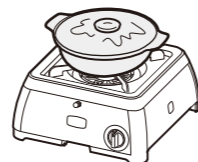
鍋底の直径が15cm~24cm未満の鍋を使用する

規定のサイズ以外の鍋を使用すると、過熱により火災などの危険があります。

※規定サイズ以内の鍋でも、不安定な鍋や破損している鍋などは使用しないでください。



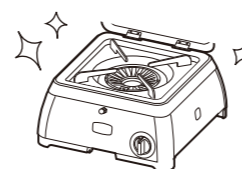
鍋底直径: 15cm~24cm未満



大型の鍋など、鍋がふたに接触する場合はふたを取り外して使用する



ご使用の有無にかかわらず、古くなった機器は安全のため、ご使用前に点検修理をご依頼ください。



⚠ 注意(CAUTION)



異常時の処理

万一異常燃焼したときや、地震や火災など緊急の場合はあわてずに器具せんつまみを「消火」にし、容器(ボンベ)を本体から取りはずしてください。「故障・異常の見分け方と処置方法」13ページを参照し、処置してください。



本体を持ち運ぶときは、本体や各部が十分冷えてから、本体を持って持ち運ぶ

ふたを閉め、ふた固定バンドで固定されていることを確認してください。ふたを開けたまま持ち運ぶと落下によるけがや破損の原因となります。

お願い

- 点火、消火時のほか、使用中には正常に燃えているかときどき確認してください。万一容器(ボンベ)が過熱し内部の圧力が上昇した場合は圧力感知安全装置が働き、自動的に火が消えますので次の処置をしてください。

圧力感知安全装置が作動したときの処置方法

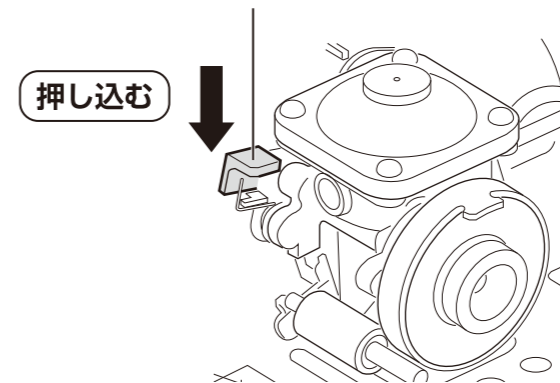
■圧力感知安全装置

- 容器(ボンベ)が過熱され容器内の圧力が異常上昇したときに、自動的にガスの流れが止まり、火を消す装置です。このようなときには、「特に注意していただきたいこと」の項(1~7ページ)を見ていただき、その原因を取り除いてから次の要領でリセットしてください。
- ※ 本体や汁受けなどが高温になっていますので、各部が十分冷えてから行ってください。

圧力感知安全装置のリセットのしかた

- ① 器具せんつまみを「消火」の位置に合わせる。
- ② 容器カバーを開けて容器(ボンベ)を取り出す。
- ③ 圧力感知安全装置リセットレバーを下記に従ってリセットする。
- ④ 予備の容器(ボンベ)を取り付ける。予備の容器(ボンベ)がない場合には、取りはずした容器(ボンベ)が冷えてから使用する。
- ⑤ 点検後、再点火する。

圧力感知安全装置リセットレバー

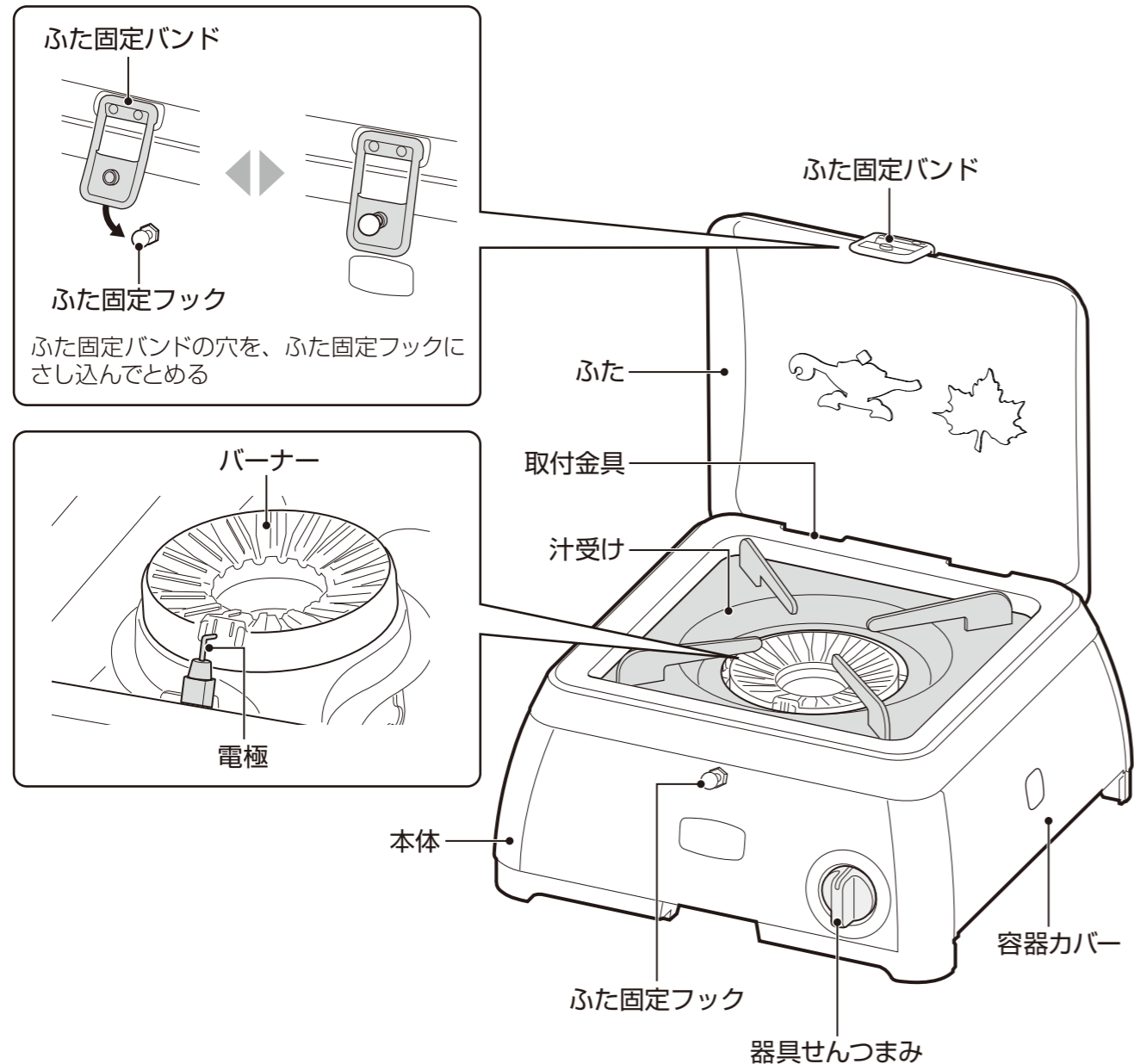


容器(ボンベ)取り付け部

お願い

- 安全装置が作動した後、点検して再点火してもたびたび同じような作動を繰り返すような場合は、お買上げの販売店、または当社お客様相談室にご連絡ください。

各部のなまえ



仕様

製品名	LOGOS × SENGOKU ALADDIN ポータブルガスカセットコンロ1バーナー		
型式	81060040	点火方式	圧電点火方式
発熱量	2.9kW (2500kcal/h)	使用ガス	ブタンガス
連続燃焼時間	約1時間11分 ※1	安全装置	圧力感知安全装置(ガス通路閉止型)
出力(ガス消費量)	2.9kW (2500kcal/h) 211g/h ※2		
外形寸法	幅 約30 × 奥行き 約41.2 × 高さ 約35(cm) (使用時)		
	幅 約30 × 奥行き 約31.4 × 高さ 約16.6(cm) (収納時)		
質量	約3.3kg ※容器(ボンベ)を除く		
使用容器(ボンベ)	SENGOKU ALADDIN		

※1…気温20～25℃時、最大火力で使用したときの目安時間

※2…気温20～25℃時、最大火力で使用したときの30分間実測値を1時間の消費量に換算

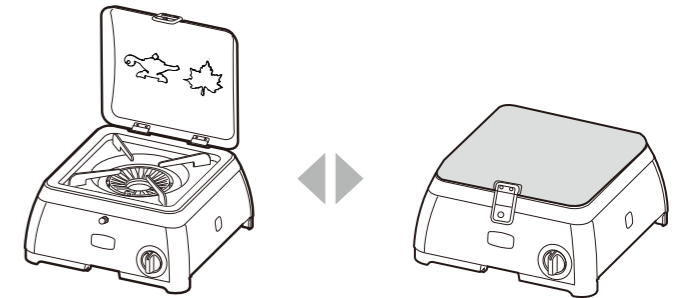
ご使用まえの準備と確認

■設置場所(使用場所)及び周囲の防火処置

- テント内、車内、トイレ、浴室など密閉された場所では使用しないでください。
- 引火物、可燃物が周囲にある場所では火災のおそれがありますので使用しないでください。
- 強い風の吹き込む場所や、出入口など人の通る場所では使用しないでください。
- 水平な場所で使用してください。振動の激しい場所では使用しないでください。
- 他のヒーター、ストーブなど大きな熱源のそばでは使用しないでください。火元の熱で容器(ボンベ)が過熱され、爆発のおそれがあります。

■ふたを開けておくとき・閉めるときは

- ふたの開閉は、各部が十分冷えてから行ってください。
- 本体を持ち運ぶときは、ふたを閉め、ふた固定バンドの穴を、ふた固定フックにさし込んでとめてください。(左記参照)

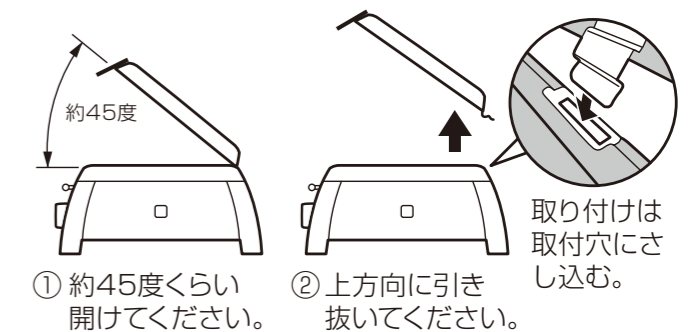


⚠警告

- ふたを閉めた状態で使用しないでください。本体内に熱がこもり、容器(ボンベ)が過熱され爆発するおそれがあります。
- 使用後しばらくはふたをしないでください。本体内に熱がこもり、容器(ボンベ)が過熱され爆発するおそれがあります。各部が十分冷えてからふたをしてください。
- 調理中や消火直後はふたを素手で持たないでください。やけどのおそれがあります。
- 風がある場合は、ふたが風を防ぐ方向に本体を向けて使用してください。風が吹き込んで炎が吹き消され、ガス漏れを起こす場合があります。

■ふたの取り付け・取りはずしについて

- ふたを取りはずすときは、ふたを約45度開けた状態にして、上方向に引き抜いてください。
- ふたを取り付けるときは、取り付けと逆の手順で確実に取付穴にさし込んでください。

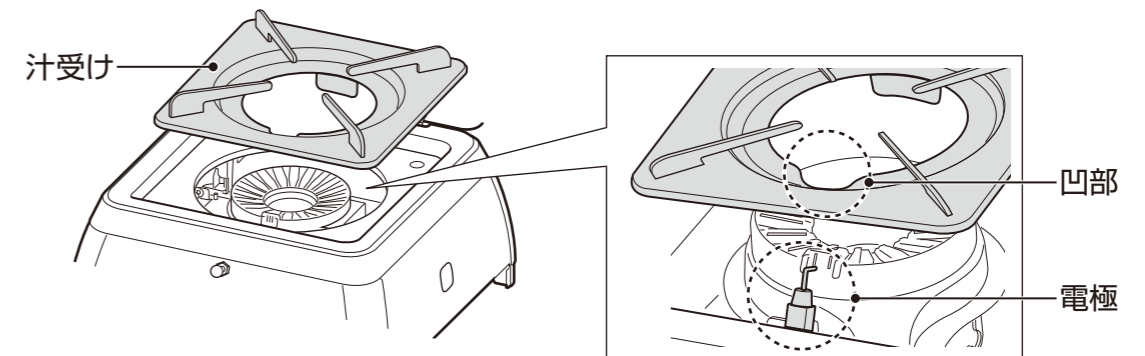


⚠注意

- 大型の鍋など、鍋がふたに接触する場合はふたを取りはずしてください。

■汁受けの取り付け・取りはずしについて

- 使用するときには、必ず付属の汁受けを使用してください。
 - 汁受けを取り付けるときは、汁受けの凹部の位置を電極の位置に合わせて取り付けてください。
- ※汁受けが正しく取付けられていないと、点火不良や異常燃焼のおそれがあります。



■使用できる鍋について

- 使用できる鍋の大きさは、鍋底の直径が15cm～24cm未満です。
- 市販の鉄板などは絶対に使用しないでください。本体内に熱がこもり、容器(ボンベ)が過熱され爆発するおそれがあります。

正しい使いかた

警告

- 故障または破損したと思われるものは絶対に使用しないでください。
- 容器（ボンベ）を確実に装着しないとガスが漏れて火災の原因となります。
- 容器（ボンベ）をセットしても「シュー」と音がしてガスの臭気がある場合には、完全に装着されていません。もう一度よく注意して取付け直してください。装着が不十分な状態で使用すると火傷や事故の原因となります。
- 「シュー」と音がしてガス漏れが止まらないときは使用しないで、点検修理を依頼してください。漏れたガスを完全に追い出すまでは、絶対に火気、電気器具は使用しないでください。

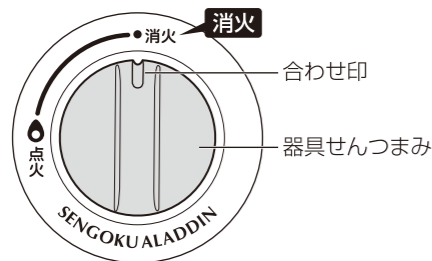
注意

- 必ず容器受けガイドの凸部と容器（ボンベ）の切りかきの位置を合わせて取り付けてください。
- 未点火の状態器具せんつまみを「消火」以外の位置にしておくと生ガスが出て危険です。
- 容器（ボンベ）が冷えていますと火力低下を起こします。40℃以下の暖かい場所で保管した、できるだけ新しい容器（ボンベ）をご使用ください。

■ 容器（ボンベ）の取り付けかた

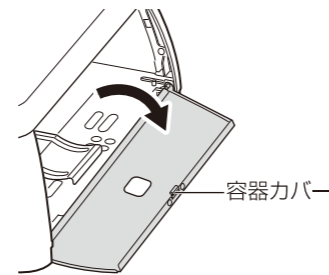
※ 容器（ボンベ）を取り付ける前に、必ず器具せんつまみが「消火」位置にあることを確認してください。

1. 器具せんつまみを「消火」方向に、止まるまで回して器具せんを閉じる



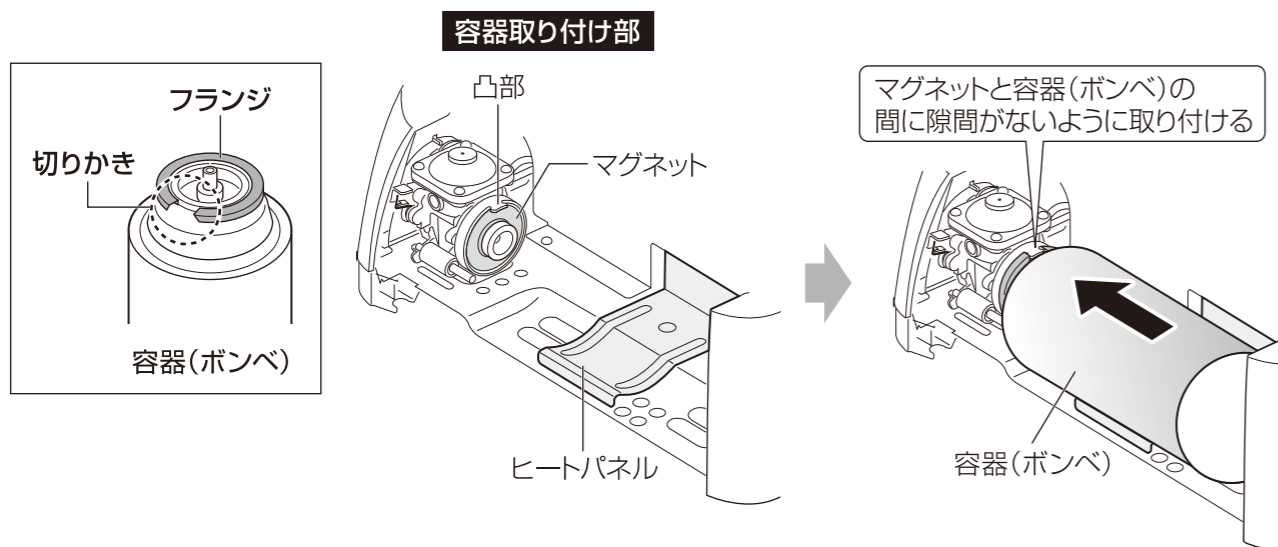
2. 本体の容器カバーを開ける

● 容器カバーの穴に指を入れ、開いてください。

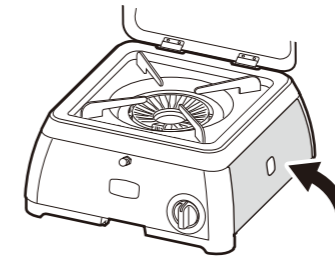


3. 容器（ボンベ）を取り付ける

- ① 容器（ボンベ）の切りかきを上側にして、本体内部のヒートパネルにのせる
 - ② 容器（ボンベ）の切りかきを、容器受けガイドの凸部に合わせながら、容器（ボンベ）を突き当たるまでゆっくりとさし込む
- ※ 容器受け部はマグネット式です。容器（ボンベ）をマグネットに確実に密着させてください。



4. 容器カバーを閉じる

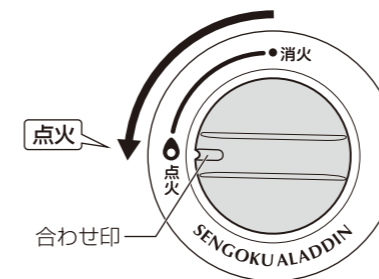


■ 点火のしかた・火力調節のしかた

※ 点火する前に、汁受けを取り付けてください。

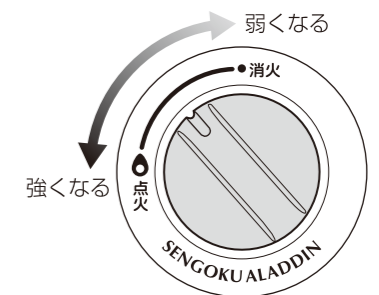
1. 器具せんつまみを「点火」の方向にゆっくりと回す

- “カチッ”と音がして、着火します。
 - 一度でつかない場合は、再度くりかえしてください。
- ※ 点火の位置にしたままにしておくと生ガスが出て危険です。必ず、点火したかどうかを確認してください。



2. 火力を調節する

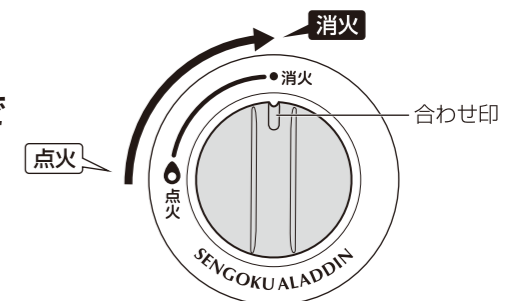
- 器具せんつまみを「点火」の方向へ回すと火力が強くなり、「消火」の方向へ回すと弱くなります。強火から弱火にするときは、器具せんつまみをゆっくり回してください。
- ※ 弱火で使用される場合は、特に風に注意してください。



■ 消火のしかた

1. 器具せんつまみを「消火」の方向に止まる位置まで回す

※ 必ず消火したことを確認してください。



■ 容器（ボンベ）の取りはずしかた

1. 器具せんつまみを「消火」の位置に合わせてから容器カバーを開ける
2. 容器（ボンベ）をゆっくり取り出し、容器カバーを閉める



■ 容器（ボンベ）の保管のしかた

1. 容器（ボンベ）にガスが残っている場合、容器キャップをかぶせてから40℃以下となるところに保管する

- ※ ストープ、こたつなど、他の熱源の近くに置かないでください。
- ※ 使用済みの容器（ボンベ）は火中に投げ入れないでください。

2. 危険防止のため、容器（ボンベ）をはずしてからもう一度点火して残っているガスを燃焼させる

- ※ 容器（ボンベ）を取はずした後も、配管には少量のガスが残っています。

※ 長期間ご使用にならない場合は、14ページの「保管（長期間使用しない場合）」をご参照ください。

日常の点検・お手入れ



注意

- 日常の点検・お手入れを必ず行ってください。故障または破損と思われるものは使用しないでください。
- 手、指の保護のため、必ずゴム手袋などを使用してください。
- 本体の丸洗いは絶対におやめください。ガス通路に水が入ると、ガスが出なくなったり、サビの原因となります。
- 点検・手入れの前には、必ず容器（ボンベ）を取りはずしてください。
- 点検、手入れは本体が冷えてから行ってください。
- ガス通路部分は絶対に分解しないでください
- 特に煮こぼれしたときは、必ずバーナーの清掃を行ってください。
- 消火直後は非常に高温になっていますので、汁受け、ふたに水をかけないでください。熱湯、油が飛び散り、やけどするおそれがあります。

点検	お手入れのしかた	ご注意
煮こぼれの有無	固く絞った布で煮こぼれをふきとってください。汚れのとれにくいときは中性洗剤で手入れした後、乾いた布で、十分に水気を取っておいてください。	お手入れの際は、ガス導管（銅パイプ）を動かさないでください。
バーナーの目づまり	金属ブラシや千枚通しなどできれいに掃除をしてください。	不完全燃焼、あるいは炎の不揃いの原因になります。バーナーは常にきれいにしておいてください。
電極の汚れ (点火しなくなった場合)	電極の汚れは、乾いた布でふきとってください。(このとき、電極の位置を動かさないようにしてください)	点火不良の原因となります。お手入れのとき、器具せんつまみを点火方向に操作すると感電することがあります。
本体の汚れ	乾いた布でよくふいてください。汚れのとれにくいときは、中性洗剤で手入れした後、乾いた布で十分に水分を取っておいてください。	シンナー・ベンジン・みがき粉などの使用は、表面を傷つけるおそれがあります。またナイロンたわし・金属製のたわしでこすると、本体や容器(ボンベ)を傷つけます。
汁受け・ふたの汚れ	ご使用後は必ず取りはずし、台所用合成洗剤(食器用・調理器具用)をうすめたぬるま湯の中で洗ってください。洗った後は、綺麗にすすぎ乾いたふきんで水分をふきとってください。	油や汁で汚れたままにしておくと、腐食を早めます。シンナー、ベンジン、みがき粉、ナイロンタワシ、金属製のタワシなど、傷がつきやすいものは使用しないでください。

故障・異常の見分け方と処置方法

原因	現象	現象											処置方法	参照ページ		
		点火しにくい(コンベ)	バーナーに火移りしない	黄炎で燃える	炎が安定しない	炎が不揃い	火力が弱い	ガスのおいがする	使用中に消火した	消火しない	ボンベが装着できない	器具せんつまみを「消火」にしてもガスが漏れる				
他社容器(ボンベ)を使用している		●											●	●	SENGOKU ALADDIN専用容器を使用する	—
ガスが少なくなっている		●	●				●	●							新しい容器(ボンベ)に取替える	—
電極部の汚れ・水分の付着		●													汚れ・水分をふきとる	—
バーナーの炎口部の目づまり		●	●	●	●	●									金属ブラシなどで、目詰まりを取り除く	13
点火操作が適切でない		●									●				正しい点火操作をする	12
ノズルがつまっている		●	●	●			●	●							点検修理を依頼する	—
器具せんの故障		●									●		●		点検修理を依頼する	—
圧力感知安全装置が作動		●										●			原因を除去してリセットする	8
点火装置の故障		●													点検修理を依頼する	—
器具せんつまみが全開でない											●				器具せんつまみを全開にする	—
器具せんつまみが「消火」になっていない													●		器具せんつまみを「消火」にしてセットする	—
容器(ボンベ)のセット不良		●									●		●		容器(ボンベ)の容器ガイドを正しくセットする	11
本体が変形している(歪み)														●	点検修理を依頼する	—
マグネットに鉄片、鉄粉が付着														●	粘着テープで鉄片、鉄粉を取り除く	—

故障かな?と思われたときは

次のような現象が起こりましたら、原因を除いて適正にご使用ください。

現象	原因	処置方法
点火しにくい ● 電極からバーナーに火花が飛ばないで違うところに飛んでいる ● 急に火花が飛ばなくなった	1) 電極とバーナーとの間隔がずれています。 2) 電極の白い部分(セラミック)に水滴が付着しているか汚れています。	● 電極とバーナーとの間隔がずれると火花が飛ばなくなったり、別の方向に飛んで点火不良になります。火花の飛び方向を調節してください。 ● 水分、汚れにより漏電しています。取り除くとなおります。
使用中、容器(ボンベ)にガスが残っているのに火が消えた	異常な使用のために容器(ボンベ)の温度が高くなって、圧力感知安全装置が働いています。	● 8ページの「圧力感知安全装置が作動したときの処置方法」に従って復帰させてください。

保管(長期間使用しない場合)

- 容器(ボンベ)を必ず機器から取りはずし、そのまま点火操作をし、ガス通路の内部に残っているガスを燃やしきってください。
- 機器などが汚れていないか、よく乾いているか確認してください。
- 機器の各部が冷えてから、各部の汚れやほこりを布でふきとり、収納箱または袋に入れ、湿気の少ない場所に保管してください。
- 取りはずした容器(ボンベ)は、容器キャップをして、風通しがよく、湿気の少ない40℃以下となる場所に保管してください。
- 保管してある容器(ボンベ)は時々点検して、さびたりしないように手入れを行ってください。
- 特にストーブなど他の熱源のそばでは絶対に保管しないでください。

ご注意

機器に容器(ボンベ)をセットまたは、入れたままの状態では絶対に保管することはしないでください。必ず別々に保管してください。

アフターサービス

■ サービス(点検・修理)を依頼される前に

- (1) 13~14ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」「故障かな?と思われたときは」の項を見て、一度ご確認ください。
- (2) ご確認の上で、それでも不具合がある場合、あるいは不明な場合は、自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店、またはお客様相談室にお問合わせください。
- (3) 保証書に記載されている無料修理規定以外は、有料となります。

■ 補修用性能部品の最低保有期間について

- 補修用性能部品の最低保有期間は、当製品の製造打切後5年間となっています。
- 補修用性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品です。

容器(ボンベ)のお求めは

容器(ボンベ)は、SENGOKU ALADDINとご指定の上、お買い求めください。

アフターサービスをお申し込みになるときは

お買い求めの販売店、または保証書に記載の「お客さま相談室」にお問合わせください。